

[展示室1,2]

出版記念展

ちひろ・いのちの画集

2009年5月15日(金)～7月7日(火)

ちひろ生誕90周年記念『ちひろ いのちの画集』講談社刊 定価¥2,000 好評発売中

子どもというのは、
あらゆる可能性をもっている大切な人間の宝です。



いわさきちひろ・1972年

本展は6つのテーマをもとに構成されています。

01. あかちゃん

チューリップのなかのあかちゃん 1971年

ひとりの子を持つ母親でもあったいわさきちひろにとって、子どもはかけがえない存在で未来そのものでした。また、子どもの生命を脅かす戦争を許すことはできないというちひろの思いは、自身の戦争体験ゆえのものです。ちひろの描くあかちゃんや子どもは、無垢な美しさ、生命の輝きに満ちていますが、そこには、ちひろの「世界中のこどもみんなに平和としあわせを」という願いがこめられています。

本展では、『ちひろ いのちの画集』の出版を記念し、画集収録作品を含む、ちひろが子どもを描いた代表的な作品や、絵本『戦火のなかの子どもたち』から原画を紹介します。

【ギャラリートーク】 展示関連企画

日 程 : 5/23(土)、6/13(土)、27(土)

時 間 : 14:00～

参 加 : 参加自由・無料(入館料のみ)

【主な展示作品】 出展作品数 約60点

「傘と子どもたち」1969年、「緑の風のなかで」1973年、「戦火のなかの子どもたち」より「小さな花を持つ少女」1973年、「蝶と乳母車に乗ったあかちゃん」1971年 他



06. 子どもの心

絵をかく女の子 1970年

02. いのちのかがやき

青いつば広の帽子を持つ少女 1969年



03. 悲しみの日々

絵本『戦火のなかの子どもたち』よりものかけからのぞく少女 1973年



04. ひとみ

ピンクの服の少女 1970年



05. 母のまなざし

母の日 1972年